

# 「キルデルガルテン」と云ふ名について

米國エモリー大學 井 上 愛 策

左の一篇は米國にある本會々員井上氏が倉橋主幹に送られし書信ですが特に乞ふてこゝに御紹介申上ます。同氏は彼の地にありて、常に本會に深き同情をもち種々の有益なる通信を下さる事を併せてこゝに御禮申上ます。(編輯係)

謹啓愈御精勵奉賀候先月(四月號)米國の月刊雜

誌 キルデルガルテン 育にシンシナチ大學のプリス教授の Play

school instead of Kindergarten”なる題を閲讀候

間御參考迄に申上候同教授はフリーベルが最初呼

びし“Klein Kinder beschaffigungs Anstalt”なる

語を引證せしがなる程英譯せば Klein = little 小

に Kinder = children = 兒童 beschaffigungs = Occu-

pation = 業 Anstalt = School or institution = 學校 恁

んな處から「幼稚園」の代りに「プレイ、スクール」

の説が出しやうに考へられ候、申すまでもなく

“Play School”のプレイは此の處にて廣い意義に

て、英米人が會話の間に例せば今兒童が恩物でお家を組建て(プレイイング)のみますと軽く云ふ時にも其意は兒童の仕事を示し、プレイイング、オクキユバイング、仕事に従事して居る事なれば勿論プレイは業一般を示すものにして、遊戯とかゲームをのみ申すものに非ずと存じ申候、然かし小生にとりては、日本語の幼稚園コイヂエンは耳なれし理けか何んとなく美しく響き如何なる原意が理由にて他の名稱を附せらるゝにせよ幼稚園なる語は既に兒供の國を想像せしめ、園は兒供のバラダイスと觀じ申候、勿論未だ深く斯の名稱問題に就て考へ不申候間確實に徹底たる名稱は何れが是か非かをも兼ね候へ共、此の詩的な幼稚園コイヂエンなる名稱を今更ら變ずるの急務にも非ずと存候、然かし極めて實際

的な米國の一教育家が原意の實際を表現せる名を在來の幼稚園キンダーガルテンなる代りに倣めんとを試み亦徒勞の研究にも非ずと存じ左に其頁を御紹介申せば、

『戦争の結果萬事獨逸に對し偏見の理由を以て幼稚園キンダーガルテンてふ名に異論を挿むに非ず、廣義に云はしむれば米國に於て整然たる學校組織の究備せる中に、獨逸の教育理想又は全く外國の原理を基礎とせる名稱を與ふる事に付ては予は多年反對の意見を有せりジユムジユムナシユームナシユームは獨逸思想を最も好く表はし彼國が軍國主義を維持し以て之を基礎とし、尊重せる名稱なり、命令に服従の原理は獨逸に於ける統一の原則にしてブレインを通じて其れ自身の活動表情に非るも斯は初期の道程に於ては特に理ならん。

フリーベル自身が考へし如き兒童の爲の學校に適當なる名稱を發見せん爲には、彼自分随分困難を感じ、されば彼が最も幸福なるインスピレーションと認めし名稱にして世にも歡迎

せらるゝ幼稚園キンダーガルテンなる名を當時幼兒の學校の典型として直接に採用せざりき、蓋し最初に呼びし

“Klein Kinder beschaffungs Anstalt”なる語は兒童が孜孜として勵む大部分がオキユベーションプレイを爲す事に確立するものとして最も適切に其特質を表はせるものと云ふ可矣。

斯之機關のフリーベルによりて建設され其の先輩たる理想と遂行せしと雖も餘程改良取捨あり、オキユベーションプレイは嫁姆、教師によりて主治せしものに非して、嫁姆各自が動作を單に口授するに止まり、以て兒童の前に備へられたる教材外に尙創作に於ける自發的活動を自由ならしめんが爲なり、故に新教育の運動たるや其意志の發展は自個活動を通じて初歩の發達、自由、獨立、等を助長せしめんが爲にして、かゝる運動は社會的、政治的、結果に於けるデモクラチックたる所以なり、則ち何故フリーベルが蒔き

し種を外國の土に特に米國に僅少なる成果として移植せしかを説明するものなり。今日一部分のフリーベルを想像し、若しくはフリーベルを獨逸と共に同情せんとすることは不可能なり誰かよく如何なる程度にせよ義務なりしにせよ白耳義に進軍して多數の幼兒を死に致したる獨逸と共にフリーベルの「來れ我等をして兒童等と共に生活せしめよ」と云ひし溫和なる言葉を描出し得るものぞ、然らば何故世界を權力で支配せんと企てし狂暴なる獨逸の軍國主義の名を吾人は繼承せんとするか、宜しくキンダーガートンよりもフリーベルの學校と稱するを可と爲す則ち彼の名は常に其理想と共に聯想さるゝものなれど、斯の名は今日の幼稚園キンダーガートンに對しては異論の生ずるや必せり、須く夫の時代を超越し進歩と特質を加味するものなる可し、なる程彼は多く改良しブレイの動氣に依る可き事と見出せしと雖もブレイの精神其のものは生來自然に在

りブレイの方法如何によりて兒童は生育するものなり。生長發達は凡ての學校生命の目的なれば、ブレイの精神と通じて、兒童たる事の更らに振興助長さるゝものとせば何故に幼稚園の代はりにはブレイスクールと稱へざるか、他の名は數々暗示されたるもブレイスクールは幼稚園に於ける最も一般統一的動氣の觀念に適合し、現代に於て他の見地よりして亦異論欺惑なく權威あり、更に好く了解されブレイの眞價を表はすものと信するものなり』……以上

五月二十五日

Emory University Ga.  
井 上 愛 策

「……私は雲とならう。母さんはお月様になつて下さい。私は  
両手で母さんを蔽ふ。そして私共の家の家根は青空になりますね

えー

(タホル)